

# 平成18年度じゅんかん プロジェクト6 報告書

～ホームページ「ごみとリサイクル」について提案～

平成19年1月

## <はじめに>

循環型社会推進懇談会（呼称：じゅんかんプロジェクト）は、平成13年度に市川市が策定した一般廃棄物処理基本計画「いちかわじゅんかんプラン21」の策定に当たって、市民の意見を計画に取り入れることを目的として設置された市民参加組織です。

14年度からは、基本計画の策定を受けて、一般廃棄物の排出及び適正な処理方策等を市民と共に考え、計画や施策が円滑に実行されるよう市民と行政が意見を出し合い、資源循環型社会の形成を推進していくことを目的とする市民会議として、年度ごとにテーマを変えて進められてきました。

そして、18年度じゅんかんプロジェクトは、近年の急速なインターネットの普及を受けて、資源物やごみの分別、3Rの推進などで大きな啓発効果が期待される環境清掃部清掃ホームページ「ごみとりサイクル」について、より市民へわかりやすい内容に改めるため、議論・検証しました。

この点を踏まえて作成したものが次頁以降の内容となります。

報告書の名称は、じゅんかんプロジェクト会議が、今年度で6回目になることから、「**じゅんかんプロジェクト6報告書**」としました。

なお、今回のプロジェクトで実現できなかったことは、今後の課題・要望として報告書の最後にまとめました。

限られた期間による取り組みではありましたが、この報告書が、市川市のごみ減量、資源化の一助となれば幸いです。

## 1．現在の「ごみとリサイクル」のホームページについて

環境清掃部清掃ホームページ「ごみとリサイクル」について、より市民へわかりやすい内容に改めるにあたり、現在のホームページとリニューアル後のホームページを比較できるように、現在のホームページの構成と平成17年度におけるアクセス数を資料として添付します。

- (1) ごみの出し方など大きな7つの項目とトピックスから成り立ち、キラリン・ピカリンを背景イラストに使用しています(資料 別紙1参照)。
- (2) ごみは市民の生活に密着している事柄のため、市民の関心が高く、平成17年度は約9万2千件のアクセスがあり、市川市全体のホームページアクセス件数でも、毎月上位30位以内に入っています(資料 別紙2参照)。

## 2．現在のホームページの改善が必要な点について

現在のホームページを6回の懇談会開催による議論・検証をした結果、次の8項目を必要な改善点とします。

- (1) 文字が多く読みづらいため、文字数をなるべく少なくし、イラスト・表・図・写真を多用する。
- (2) 色使いが見づらいため、メリハリの効いた色使いにして見栄えのする魅力的なホームページにする。
- (3) 内容がわかりづらい面があるため、わかりやすい内容・言葉づかいにして、幅広い世代に対応する。
- (4) ホームページ内の情報量が多く、知りたい情報が探しにくいいため、トップページにフレーム機能を設ける。
- (5) トピックスや新着情報が多すぎるため、トピックスや新着情報の配置を整理する。
- (6) 細かいごみの分別がわからないときに答えてくれるページがないため、ごみの分別Q&Aのページを設ける。
- (7) こどもがごみ問題を知りたいときに調べるページがないため、こども専用のページを設ける。
- (8) 年末年始などごみの収集が休みとなる日がすぐにわかるよう、1年分の休みがわかるようなものを設ける。

### 3. ホームページのリニューアル案について

8つの改善点を踏まえて、特にリニューアルが必要な次の5項目を提案します。

なお、項目ごとにリニューアルをする際の要点を記載し、実際のホームページは別紙資料として添付します。

#### (1) トップページ(資料 別紙3参照)

トップページタイトルは、リニューアルにあたり現在の「ごみとリサイクル」を改め、「資源物とごみ」を提案します。

その理由は、現在のタイトルに「リサイクル」という言葉が含まれていますが、リサイクル自体は「再び資源として使用する」ということを意味します。市民と市の関係においては、市民が資源物として分けたものを市が回収し、その後、再び資源として使用(リサイクル)することになります。

しかし、近年では資源循環型社会の構築にあたり、3R(スリーアール)という言葉が頻繁に使用されるようになっていきます。

それはリデュース(ごみになるものを減らす)・リユース(ものをくり返し使う)・リサイクル(再び資源として使用する)のアルファベットの頭文字のRを3つとったものです。

リデュースの例はマイバッグの持参や過剰包装を断るなどで、リユースの例は不要になった家具を欲しい方に譲るなどです。どちらも市民の一人ひとりの行動に密接に関わるもので、今後のごみ減量を図っていくうえで、リサイクルだけでなく市民が主体となったリデュース・リユースの推進が必要です。

そのため、リニューアル後のタイトルは、市民がごみをなるべく出さず、やむを得ず不用になったものは資源物として生かし、ごみをなるべく出さないようにして欲しいとの思いから、「資源物とごみ」としています。

その他、ホームページ内の情報量が多いため、知りたい情報が探しやすいようフレーム機能を設けるほか新着情報の整理を図っています。

#### (2) 資源物とごみの分け方・出し方(資料 - 別紙4参照)

「資源物とごみの分け方・出し方」は、イラストを用いて文字数をなるべく少なして簡潔な内容にしています。

また、関連リンク集としてごみ処理の流れも設け、資源物としてどのように処理されているかについても、市民の関心の高い部分である

ので写真等で紹介しています。

( 3 ) ごみの出し方Q&A ( 資料 別紙5 参照 )

資源物とごみの分け方・出し方で特に分別のわかりにくい点・問い合わせの多い事柄などを「ごみの出し方Q & A」としてまとめ提案します。

また、このQ & Aも( 2 )と同様にイラストを用いて文字数をなるべく少なして簡潔な内容にしています。

( 4 ) こどものページ ( 資料 別紙6 参照 )

小中学校の環境学習におけるインターネットの利用が、近年急激に増加していることを受けて、ホームページに「こどものページ」を設け、特にこどもの視点から関心のある事柄をわかりやすく調べやすいように提案します。

なお、こども用ページのため、平成2年からこども達にも長年親しまれてきた市川市清掃キャラクター「キラリン・ピカリン」を使用した展開をしています(「キラリン・ピカリン」は、ごみ収集車にもカラーリングされています)。

( 5 ) ごみ収集日カレンダー ( 資料 別紙7 参照 )

年末年始などのごみの収集日が、一回の検索で一年分まとめて休みの日がわかるよう「ごみ収集日カレンダー」を提案します。

4 . 懇談会参加メンバー及び開催日程

( 1 ) 参加メンバー

参加メンバー	
小野 恒 (座長)	田中 恵子
伏谷 美沙子 (副座長)	田中 たか子
一松 大輔	奈良 祐一
歌丸 博美	三山 義輝
鴻池 義正	宮本 広貴

年齢構成 10～20代 4名 30～40代 2名 50代以上 4名

## ( 2 ) 開催日程

	開催日	出席人数
第1回	平成18年8月30日	10名
第2回	" 9月27日	10名
第3回	" 10月18日	8名
第4回	" 11月 8日	9名
第5回	" 11月29日	10名
第6回	" 12月20日	10名

全て市川市情報プラザで開催

## ( 3 ) 懇談会議概要 ( 資料 別紙 8 参照 )

### <最後に>

市川市のホームページは、市川市公式Webサイト運用ガイドライン(平成18年3月に策定)に基づき運用されていますが、そのガイドラインや運用方法・動作環境などにより、今回の懇談会において反映できなかった意見を最後に列記いたします。

- ( 1 ) 環境清掃部清掃トップページ「ごみとリサイクル」にも情報検索機能(検索エンジン)を設ける。
- ( 2 ) 広告収入を得るため、広告スペースをホームページ内に設ける。
- ( 3 ) 市川市だけでなく国・県レベルのホームページにおいてもWindows専用に作成されていると思われるので、Macユーザーへも配慮をする。
- ( 4 ) 障害者の利用も配慮し、音読ホームページなどを充実させていく。将来的には、Podcastなどの利用促進を含めたWebコンテンツの携帯端末上の利用も促進させていく。